



ウクライナの現状

3日、ウクライナの首都キーウ近郊ブチャで、破壊されたロシア軍戦車の近くを歩く兵士 (AP=共同)

ウクライナ、虐殺立証へ

ロシアの「戦争犯罪」追及

キーウ近郊市民の410遺体



【リビウ(ウクライナ西部)共同】ウクライナ当局は3日、ロシア軍が撤退したキーウ(キエフ)州で市民410人の遺体を確認されたと発表した。「虐殺や拷問があった」とし、「戦争犯罪」の立証のため遺体の司法解剖や捜査を進め、国際刑事裁判所(ICC)に裁きを求めた。国際社会では4日、ロシアへの非難が拡大、欧州連合(EU)は対ロ追加制裁を協議する方針を示した。ロシアは市民殺害への関与を否定した。

米シンクタンクの「戦争研究所」は3日、首都キーウ攻防戦でウクライナが勝利したと指摘。ロシア軍はキーウ州で無秩序に撤退し、一部が逃げ遅れて孤立、ウクライナ軍が掃討を続けていると分析した。

フランスのマクロン大統領は4日、EUが追加制裁としてロシア産石炭・石油の禁輸措置を取る可能性に言及した。ロイター通信によると、ドイツのランフレヒト国防相は3日、ロシアからの天然ガス禁輸を議論すべきだと訴えた。プリンケン米国防長官はロシアの責任を追及する考えを表明した。

ロイター通信によると、キーウ近郊ブチャの副市長は、ロシア軍の撤退後に確認した市民約300人の遺体のうち約50人は処刑されたと述べた。ロシア軍に拘束された夫が拷問され、切断された遺体で見つかったと訴える証言も報じた。ゼ

レンスキー大統領は「これはシエノサイド(大量虐殺)であり、国家と民族の破壊だ」と激しく非難した。タス通信などによると、ロシア国防省は「二人の住民にも手を出していない。(市民犠牲の)写真はウクライナ政府の挑発だ」と主張。ロシア軍は3月30日にブチャを離れていたとし、「ロシア軍の支配下にあった期間中、市民の被害は報告されていない」とした。

ウクライナのベレンチューク副首相は3日、拘束されたキーウ州内の村長がロシア軍に殺害されていたと発表。また、全国で11自治

政府、追

政府は4日、ロシア軍が撤退したウクライナの首都キーウ(キエフ)近郊で民間人とみられる多数の遺体が見つかったことを受け、ロシアに対する追加制裁を検討する方針を決めた。近く具体策の検討に着手する。

岸田文雄首相は同日、民間人への危害について首相官邸で記者団に「人道上的問題となる行為、国際法違反の行為は厳しく非難する」と強調。その上で「国際社会と連携しながら、わが国としてやるべきことをしっかりとやりたい」と、追加制

砲撃の隙 穴掘り埋葬



キーウ近郊ブチャの病院近くで、遺体が入った袋を埋めるために並べる人たち=3月10日(レフキフスキーさん提供・共同)

放置できず「唯一の手段」

現地の医師証言

ロシア軍が撤退したウクライナ首都キーウ(キエフ)近郊ブチャで、多数の市民が殺害された惨状が明らかになった。市民は無差別砲撃にも巻き込まれており、病院に次々と運ばれてきた遺体を重機で掘った穴に集団埋葬した現地の医師が惨状を証言した。路上に放置された遺体を埋めた即席の墓も至る所にある絶望的な光景。憤る国際社会からは「戦争犯罪だ」とロシアの責任を追及する声が相次いだ。



救急車の前に立つアンドリー・レフキフスキーさん(本人提供・共同)

絶え間なく続くロシア軍の砲撃。市民が次々搬送されてくるが、外は危険で一人一人埋葬できない。病院近くの空き地に穴を掘り、67人の遺体を埋めた。現地の医師アンドリー・レフキフスキーさん(39)が犠牲者の埋葬すらままならなくなった状況を共同通信のオンライン取材に語った。

2月24日、ロシア軍がベラルーシ国境から侵襲。キーウの手にあるブチャも当初から攻撃を受けた。3月10日、レフキフスキーさんは病院に入院した67人の遺体を同僚と外に運び出した。多くは市民で一部はウクライナ兵。深さ約1.5メートルの長方形の穴に敷き詰められた布の上に並べていく。周辺の建物からは黒煙が上がっていた。「身元不明でもそのまま埋めた。これが唯一の手段だった。ためらいはなかった」

ロシア軍が去ったブチャには今月、ウクライナ兵が戻ってきた。破壊された家には多くの遺体が残っている。多くは市民で、レフキフスキーさんは「あまりにも多くの人が犠牲となり、あちこちに埋められた。ブチャの町は今や巨大な墓のようだと訴えた。(リビウ共同)

ロシア軍は「住民に手を出していない」(国防省)と関与を否定するが、現地に入り込んだ外国メディアなどが路上に散乱する平服の遺体や、民家内で手足を縛られた遺体など虐殺の証拠を記録している。民衆怒りや地雷設置の情報もある。

首都制圧に失敗したロシア軍は東部に戦力を集中しており、同様の惨状が懸念される。劇場に避難した多数の市民がロシア軍の空襲で死亡した南東部マリウポリでも、遺体が集団で埋められ、至る所に標旗があったと脱出した市民が証言した。

ロシア軍は「住民に手を出していない」(国防省)と関与を否定するが、現地に入り込んだ外国メディアなどが路上に散乱する平服の遺体や、民家内で手足を縛られた遺体など虐殺の証拠を記録している。民衆怒りや地雷設置の情報もある。